

04 3年間の研究の流れ

平成23年度（1年目）

課題意識

- ・今、なぜ言語能力向上なのか。・何のために言語活動を採り入れるのか。
- ・これまでの言語活動の取り組み方と何が違うのか。

実践するための共通認識

- ・新学習指導要領の総則。国語科で身に付ける言語能力が基盤となる。
- ・児童の思考力・判断力・表現力等を身に付けさせることが目的である。
- ・言語活動自体が目的ではなく、身に付けさせる力を意識した活動である。

言語能力向上推進委員会で3年計画の作成
 (研究推進委員会・特別活動部・図書担当で具現化)
 1年目…言語環境整備・言語基盤をつくる
 2年目…具体的実践 3年目…実践・検証と理論化

研究主題「自分の思いを正しく伝えられる児童の育成」
 —思考力・判断力・表現力等を育む指導の工夫—
 低・中・高学年分科会〈研究授業で学んだこと〉

研究推進委員会

- 相手意識と目的意識をしっかりとらせることで、児童の課題解決の意欲は持続する。
- 安心して伝え合える場を設定する。(少人数グループは児童が表現しやすい場である。お互いに認め合える人間関係の中で、よりコミュニケーションは活発化し、表現能力も磨かれる。)
- 相手に分かりやすく伝えるためには、論理的な思考スキルが必要である。
- 感動体験は、伝えたい内容を生み出し、表現したい欲求を高める効果がある。

特別活動部

- ・プロジェクトアドベンチャーを使った学級づくりの推進
 プロジェクトアドベンチャー講習会
 講師 プロジェクトアドベンチャー・ジャパン 杉村厚子さん
 「ビーイング」の活用
 (クラスの目標作りと振り返り…意識の言語化)
- ・学級会や縦割り班活動での話し合いの充実

図書担当

- ・図書室の電算化と整備 校内図書掲示の拡充
- ・アニメーション授業の研修
 2月15日(水) アニメーション授業、講義
 授業者・講師 日本アニメーション協会理事長 黒木 秀子さん
- ・「ことばらんど」の創設(月ごとにテーマを決めて掲示…詩・短歌・俳句・なぞなぞ・だじゃれ・ことわざ等)
- ・読み聞かせ活動の充実
 (保護者・地域ボランティアによる読み聞かせ月1回)

講演会

9月17日(土)「ことばは相手へのプレゼント」
 講師 劇団ルネッサンス代表 増岡 弘さん

平成24年度（2年目）

1年目の課題

- ・児童が意欲的かつ主体的に取り組むことができるような、教師の働きかけは何か。
- ・聞く力や自分の意見をまとめて発表する力が乏しい。話形にとらわれすぎずに活発に議論をするための手立ては何か。
- ・書くことに対する苦手意識をなくすための手立ては何か。

実践するための共通認識

- ・意欲的に課題解決するには、児童の心を動かす題材・資料・体験等との出会いが重要である。
- ・コミュニケーション能力の向上は、型から始まり、型を基本としながら自分らしい表現を見付ける。そして互いに尊重しながら意見交流することができるようにする。

- (1) 推進していくための組織の強化(研究推進部強化)
- (2) 3年次計画2年次の実践と1年目の課題解決の方策実践

研究推進部

- 研究主題「自分の思いを正しく伝えられる児童の育成」
 —思考力・判断力・表現力等を育む指導の工夫—
 問題解決学習分科会・新聞活用分科会・話し合い活動分科会〈研究授業で学んだこと〉
- 児童にとって必然性のある課題と出会うと、児童は意欲的に課題解決しようとする。
 - 思考を促す教師の発問が重要である。
 - 思考の足跡が分かるポートフォリオとしてのノート作りは、児童の思考を整理し、振り返りに有効である。
 - 書く力は、5W1Hを意識した情報処理と筋道立てた構成の技術を意図的・意識的に学ばせることで向上する。
 - 自分の立場や意図をもたせて話し合う経験を積ませることで、児童の話す力は向上する。

特別活動部

- ・縦割り班における言語活動の充実(計画・運営、振り返り)
- ・30周年記念児童集会等、児童の企画力や運営力を高める児童会活動の推進
- ・展覧会でのキッズ学芸員の実施
- ・毎日の日記や振り返り(三行日記・俳句や川柳)

図書担当

- ・「ことばらんど」の児童参加(月テーマごとに児童作品掲示)
- ・読書旬間の拡充(各学期の読書旬間。図書委員読み聞かせの実施)
- ・読み聞かせの活動の充実(図書委員による読み聞かせ)

講演会

9月15日(土)「詩は言葉のあそび、心のあそび」
 講師 詩人 谷川俊太郎さん
 2月14日(木)北小寄席
 落語家 桂 歌春さん

平成25年度（3年目）

2年目の課題

- ・課題を提示する際の効果的な教師の働きかけや発問はどうするか。
- ・ロジカルな思考(論理的な思考)やクリエイティブな思考(創造的な思考)を促す教師の働きかけは、どうすればよいか。
- ・児童の潜在を引き出しながら意欲を高める方法とは何か。

実践するための共通認識

- ・これまでの研究をベースに、各教科における言語能力向上を図る。
- ・問題解決学習を基本とし、伝え合う力(適切に表現する能力・正確に理解する能力)に重点を置く。
- ・年間を通じて、国語科における「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の習得を図る。

- (1) 2年目の課題解決の方策実践
- (2) 3年間の実践のまとめ

研究推進部

研究主題「自分の思いを正しく伝えられる児童の育成」
 低・中・高・専科分科会 研究授業

4月22日(月) 算数科	6年「文字と式」	村田 誠吾
5月29日(水) 総合的な学習の時間	6年「館山博士になろう」	竹内 秀礼
6月26日(水) 図工科	6年「オリジナルドリンクをプロデュースしよう」	渡邊 裕樹
9月24日(火) 理科	4年「とじこめた空気と水」	小川 順
10月7日(月) 算数科	2年「三角形と四角形」	海藤 慶子
10月23日(水) 算数科	1年「かたちあそび」	宇根 亜由美
11月5日(火) 算数科	1年「ひきざん」	中尾 さやか
11月13日(水) 総合的な学習の時間	5年「障害を考えよう」	青木 真美
11月21日(木) 総合的な学習の時間	6年「行ってみたい国を調べて紹介しよう」	森本 弘子
11月21日(木) 理科	4年「ものの温まり方」	青木 南
12月3日(火) 理科	3年「光とかがみ」	田中 恵美子
12月5日(木) 理科	3年「かげと太陽」	渡邊 香奈

特別活動部

- ・児童の主体的なボランティア活動
 飼育…「病気のウサギを救いたい」→しずく募金活動
 奉仕活動…「落ち葉拾いを手伝おう」→朝の落ち葉拾い
- ・放送委員会での児童企画「今月の貸し出し図書ランキング」
 「だじゃれキング決定戦」
 「あなたの誕生日祝います」
- ・児童の創造性を高める学校行事の取組(運動会・学習発表会)

図書担当

- ・「ことばらんど」の児童参加の推進
 詩、俳句や川柳、短歌等の投稿
- ・児童同士の読み聞かせ

講演会

9月21日(土) 演劇ワークショップ「人を感じる」
 講師 演劇ワークショップ代表 甲斐大櫻さん